

あなたの住居・オフィスは健康ですか？

建物は人間の身体に似ています。

即ち壁は皮膚・柱は骨格・配管は血管に相当します。

私たちは皮膚が傷ついたり、骨が折れたりした場合は直に医者に行きますが、血管の病気は進行が遅くて気が付くのが遅れます。しかしこの病気は例えば心筋梗塞や脳梗塞・脳溢血のように命取りになります。これと同じ様に配管は錆による漏れやスケールによる詰まりは私たちの生活に多大な損害を与えます。つまり錆は血管の劣化、スケールはコレステロールです。建物も人間と同じく年をとればとるほどこの問題が起こり易くなります。建物の配管は建築直後から錆の進行が始まり、錆瘤の発生は平均的に約7年～8年で大きくなり、10年～15年で赤水が出るようになります。そして20年～25年で水が洩れるようになると云われています。この原因の一つは配管のネジ切り部が肉厚の半分だからです。例えば50Aの配管板厚は3.8mmであってもネジ切り部は半分の1.9mmです。従って新設時はこの半分の肉厚からスタートします。また配管(鉄)にはバルブ(青銅)等の異種金属結合で取り付けられるので金属電位差が発生しさらに腐食を早めます。



築後20年の塩ビライニング配管内部

私たちの健康は、具合が悪いから受けるという「対処療法的な時代」から前もって処置を受けるという、健康な未来づくりに主眼をおいた時代、つまり「予防の時代」へと変化してきました。

建物も同じで常に健康な状態で建物を使用する時代となりました。

特に人間の血管に相当する配管は肉厚が錆で薄くなる前に対策する必要があります。

*ではどんな対策があるのでしょうか？

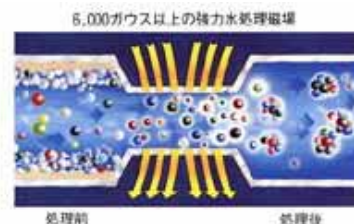
従来から「新しく配管を設置し直す方法」、「ライニング工法(管更生方法)」がありますが、これ等はコストが高くしかも工期が長いので住民は不便を余儀なくされます。さらに前者の工法は新設管の露出による美観・建物資産価値の低下、後者は工事の不均一、しかも保証期間はたったの5年で1回限りという欠点があります。その他「脱気膜工法」、「カルシウム工法」、「電子防錆工法」、「ジェット工法」等がありあすが前者の二つの工法に比べてコスト的には安いメンテ費用が掛かります。

そこで登場したのがポラー磁気式水処理装置(PWC)です。

コストが安く・取付け簡単な信頼のおける装置をご紹介します。

*ポラー磁気式水処理装置(PWC)

これは強力な磁場に水を通過させることにより水に対して微弱電流を与えると水質が浄化すると同時に管壁に錆の黒錆化(防食皮膜の形成)し、または井水等で硬水の場合はカルシウムの防食被膜を形成して錆の進行を抑制する装置です。加えて古いスケール(水垢)や脆くなった鉄錆を少しずつ溶出させて管内を綺麗にします。



この装置はノルウェー国の政府機関が20年以上かけて開発し欧米では50年以上の販売実績があります。日本では1981年より発売され、この21年間に4500台以上の販売実績のある信頼出来る装置です。

注) ポラーは水中の不純物によるトラブルを少なくします。

* PWC の特徴

最近日本では色々な磁気式水処理装置が販売されるようになりましたが、**PWC の強み**は

1. 水処理有効磁力が **6000 ガウス以上(保証)** あること

これは高価なコバルト合金を使用しているために直接水の中でもこの磁力を半永久的に確保出来ます。

PWCはこの強力な磁力により水中の不純物をより早く磁気処理して管内に黒錆の防食皮膜を形成いたしますので赤水が止まります。

なお、この他良く利用されている磁石には廉価なネオジウムとフェライト磁石がありますが、ネオジウム磁石は鉄の含有量が多いので水中で利用すると腐食して崩れてしまうという欠点があります。従って配管の外側に取付けたり、ステンレスで包んで水中で使用しているため N.S 間の距離が大きくなり水に与える磁力が弱くなります。一方、フェライト磁石は水中では錆ないが磁力が弱いのと高温及び経年変化による減衰が大きい等の欠点があります。



(水処理有効磁力測定)

注)水処理有効磁力とは水流の中心部の磁力であり、具備された磁石メーカーの言う磁力ではありません。

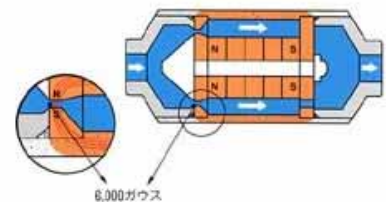
2. 独立循環方式による取り付け

受水槽に取り付けることにより水をこの強力な磁力に何回も通して磁気処理水を常時供給します。

またこの方式では専用ポンプによる循環処理なのでより小さなサイズの型式ですみ、コスト低減となります。

3. 構造的特徴(特許同軸磁気回路構造・圧力損失無視可能構造・磁気漏洩防止構造)

構造的に水が均一磁場に対して垂直に流れるため設置方向を選びません。さらに水の抵抗が少なくまた磁力が外に漏洩しない構造になっております。



* PWC の効果(他の工法に比べて)

低価格

例) 50 世帯マンション(受水層サイズ 20 m³)の 1 世帯当りのコストは

「新しく配管を設置し直す方法」 約 100 万円(リフォーム代含む)

「ライニング工法(管更生方法)」 25 万円～40 万円

「PWC」 5 万円～7 万円程度です。

工事日数が半日

他の工法は 2 週間～2 ヶ月(この間仮配管を使用)

工事の騒音が無い

PWC 装置の耐用年数は半永久的(標準耐用年数は 20 年)

駆動部が無いので故障は皆無

安全・無公害 = 薬品は一切不要

メンテナンスが容易で安価



* その他の効果(お客様より寄せられた声)

- * 花や鉢植え等の植物の成長促進
- * 汚れや水垢が落ち易くなる。(風呂場のタイル・浴槽・洗面所・便器・クルマ)
- * 水がやわらかく肌になじみ、主婦の手荒れが防止出来る。
- * お茶の成分の溶出が増加するので美味しくなる。
- * トイレの管内の尿石(カルシウム)の軟化流出や尿道結石の治療に効果のあつた事例が多くある。

水処理のことなら日本で20年以上の実績のある弊社にお任せ下さい。

ポーラー磁気式水処理装置輸入元

SELPO 日本セルポ株式会社

〒156-0052 東京都世田谷区経堂 -26-15

Tel:03-3427-2373 Fax:03-3427-8869

E-Mail:N.Selpo@selpo.co.jp URL: <http://www.selpo.co.jp>